

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院  
(旧 名古屋第二赤十字病院)で  
診療を受けられた患者さんへ  
～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	小児腎移植前後における体重変化と血液中BNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド)に関する検討		
研究実施期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2025年3月31日		
研究実施診療科	小児科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2024年11月21日	
	院長が研究実施を許可した日	2024年11月22日	
対象となる方	(西暦) 2015年8月1日 ～ (西暦) 2024年3月31日に、当院小児科において、腎移植を受けた方		
研究責任者	所属	小児腎臓科	氏名 後藤 芳充
研究の意義・目的	血液中のBNPは腎機能が悪い患者さんの溢水状態(体液が過剰になっている状態)を評価するために日常診療で使用されています。ただ、腎機能が悪くなるとBNPの代謝も悪くなるため、溢水状態のみを表すわけではなく、個々の患者さんの経過を見てゆく必要があると言われていています。 一方、腎移植を受けた患者さんは、腎機能の改善により、溢水状態から脱し多くは体重が減少します。この手術前後の体重の変化は、溢水によるものと考えられます。この体重の変化とBNPとの相関を調べ、腎機能が悪い患者さんの溢水状態をどの程度反映するかを今回は検討しようと思っています。 その結果、腎不全患者さんのより良い体液管理に貢献いたします。		
研究の方法	対象となる患者さんの臨床情報について、診療録を振り返って収集し、BNPと体重変化との相関を調べます。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、個人を直ちに特定できるような情報とは切り離れた状態で使用します。(年齢、身長、体重、性別等の基本情報、BNPや腎機能に関するデータなど)		
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。		

個人情報の保護	対象となる患者さんの情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、本研究のみに使用します。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 小児腎臓科 後藤 芳充 電話 052-832-1121 (代表)